

『みるトレ リウマチ・膠原病』

松村 正巳(著)

[評者] 地域医療機能推進機構(JCHO)本部顧問 徳田 安春

●これだけの美しい爪と指の病変写真集はかつてない

好評の『みるトレ』シリーズの1つ、リウマチ・膠原病編。しかし、この領域のアトラス集によくある“SLE(全身性エリテマトーデス)の蝶形紅斑などの写真集がまた出た”，ということではない。この本は『リウマチ・膠原病の指と爪』というタイトルにしてもよいくらい，“これでもか、これでもか!”というほど、爪と指の所見が出てくる。しかも、超高画質で高倍率。これだけの美しい爪と指の病変写真集は、かつてなかった。微細な点状の病変や隆起が、まるで、3Dのように見える。

コモンな爪や指の所見でも、これまで教科書であまり取り上げられてこなかったものも多く含まれている。試しにクイズを、下記の所見について述べよ。

- ①半々爪(Half-and-half nail<Lindsay' nail>)
- ②ボー線(溝)(Beau's lines)
- ③ミーズ線(Mees' lines)
- ④ミュルケ線(Muehrcke's lines)
- ⑤爪甲色素線条(Longitudinal melanonychia)
- ⑥爪甲鉤彎症(Onychogryphosis)
- ⑦赤い爪半月
- ⑧爪消失
- ⑨溝渠状中央爪異栄養症(Dystrophia unguium mediana canaliformis)
- ⑩Reil 線

上記のうち、「半分以上知っている」という医師は爪専門家であろう。これらの所見はしかし、入院患者や外来患者でコモンに認められるものであり、現場の指導医なら、ベッドサイドティーチングで担

当研修医から聞かれる可能性がある。「先生! この患者さんの爪を診てください」と言われて、スバッと答えることができるためには、本書を読むほかにないであろう。あるいは、研修医や医学生がすでにこの本を読んでいたとしたら……。

●まず手を診察せよ

膠原病ではとかく疾患特異抗体が話題になり、検査に走る傾向があるなかで、手をまず診察して身体所見を大事にする本書の趣旨に賛同する。Charcot-Marie-Tooth 病での下腿の逆シャンペンボトル様変化や、凹足なども含まれており、総合診療の場面でも役に立つ。牧師の祝福の手(Hand of benediction)・ジャクー関節症(Jaccoud's arthropathy)などの「視診ですぐにわかる診断」は、プライマリ・ケア領域では必須の知識であろう。

本書にはオスラー先生が登場し、「観察能力が臨床で最も重要なスキルである」と説く。ケースの解説には、ローレンス・M・ティアニー Jr 先生のパールが散りばめられており、明日からの診療に即役立つ工夫が施されている。コラムでは、ルノアールなどの芸術家も取り上げられ、臨床医学とアートの類似性が理解できる。

スマホがかなり普及したため、ゲーム中毒や睡眠障害などの合併症が問題となるなか、本書が示唆した良い面もある。現場の臨床医もみな、“自分版「みるトレ」コレクション」を作ることができるだろうということ。さて、スマホを白衣のポケットに、そして本書を脇に抱えて、ベッドサイドへ行こう!

● B5/ 頁 172/ 2015 年 / 定価: 本体 3,800 円 + 税

[ISBN978-4-260-02050-3] 医学書院刊